

平成30年度指定管理者モニタリングシート（平成29年度実績）

1 施設等の概要				
施設名	子どもセンターひばり		所管課	子ども家庭部児童青少年課（内線2410）
指定管理者名	葉隠勇進株式会社		指定管理者所在地	神奈川県川崎市中原区下小田中三丁目24番1号
指定期間	平成28年4月1日～33年3月31日	利用料金制の有無	無	他自治体での指定管理者実績 小平市児童館・所沢市児童館
施設の設置目的	市内の児童に健全な環境を与え、その健康を増進し、情操をゆたかにするため、児童館を設置する。			
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	平成28年度から、子どもセンターひばり・けやき児童館・滝山児童館の3児童館を葉隠勇進株式会社が管理運営している。指定管理者制度を導入して、日曜・祝日開館と中高校生年代の居場所づくりの児童館運営の拡充を図っている。（子どもセンターひばりは、平成18年度から、けやき児童館と滝山児童館は、平成23年度から指定管理者制度を導入）			

※本施設は平成18年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成28年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	27年度	28年度	29年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
				29年度-28年度	28年度-27年度		27年度	28年度	29年度	29年度/28年度	28年度/27年度
指定管理料	41,177,688	43,000,000	43,000,000			42,392,563					
使用料				0	1,822,312		48,254	50,618	51,666	102.1%	104.9%
成果配分金											

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	<公平性の確保> 来館者一人ひとりを丁寧に受け入れているか 全ての子ども達が児童館を利用し、いつでも行事に参加できる工夫をしているか 公平性・平等を意識してサービスや支援が適切に行われているか	3
市民サービスの向上	<事業等運営> 新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか 利用者にとって楽しい児童館運営になっているか 他の3児童館と連携し、東久留米市立児童館として一体感のある運営に努めているか	4
	<施設維持管理>設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	3
	<情報管理>個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	<危機管理> 事故・災害・傷病者・火災等に対する綿密な危機管理体制が整っているか ボランティアの受け入れについての基準と危機管理体制が整っているか	3
	<市民協働> 地域住民と一体化した取り組みがなされているか ボランティアや関係団体等との協力や連携、信頼関係の構築をしているか	4
	<ノーマライゼーション>障害者等に配慮した運営をしているか	3
	<モニタリング> 利用者の満足度を図る仕組みや事後評価をしているか クレーム時の対応方法を整備し、クレーム後は改善策を講じているか アンケート調査の結果を改善しているか	3
経費の節減など効率的な運営	<収支の改善等>利用者の増、経費の削減などの収支状況の改善に向けた取り組みをしているか、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	<経費の妥当性>管理運営経費は、その内訳も含め妥当か、適正に執行しているか	3
	<再委託業務>再委託されている業務の範囲は適切か	3
	<環境対策>市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営をしているか	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	<サービスの信頼度>施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	3
	<職員の専門性、配置体制> 職員の指導育成などを適正にしているか、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員を配置しているか、 虐待、気になる子への支援として福祉的機能を発揮しているか 研修を受講した内容が仕事や館運営に反映されているか 職員の定着率が安定しているか	4
	<労働条件>職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	<経営基盤>指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しているか、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	4
	<業務及び合同行事のノウハウ>業務及び合同行事のノウハウが継承されているか 児童館行政としての理念が継承されているか	4
施設の特性によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画書等を参考に、評価の視点を設定する	児童虐待やいじめに関する発見とその報告や情報提供が児童青少年課や関係部署に適切に行っているか	3
	児童厚生員としての資質を備えているか 子どもと遊ぶ、利用者との関わり等の業務を重視しているか	4
	組織の指揮系統が明確で児童館館長の責務を果たしているか 指定管理者の職員間でのチームワークが発揮されているか	4
	合計点数	67点/100点

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

平成30年度指定管理者モニタリングシート（平成29年度実績）

4 評価点（現状と課題等を含む。）

- * 3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。
- ・子どもセンターひばりの開館以来、業務に精通した職員が配置され、運営が安定している。
 - ・ベテラン職員の配置が定着しているため利用者との継続的な関わりが保たれている。
 - ・夏祭りのボランティアの調整、近隣の中学高校等、地域の連携がよく取れている。
 - ・午後9時までの開館時間延長を実施しているため、中高校生年代の居場所づくりに貢献している。
 - ・隣接する公園についてもよく気を配っている。
 - ・年間の利用者が5万人を超え活気がある。
 - ・平成29年度児童館全職員研修、新人研修を公設公営館の職員と一緒に実施した。
 - ・館長を支えるベテラン副館長の対応が評価できる。

5 総合評価

公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の実態によるサービス提供	
・公平性の確保	C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など 	B	・設定した評価の視点	B

6 次年度以降に向けた方向性

- * 3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。
- ・中高校生年代の居場所づくりについて維持継続を期待したい。